

工芸の島 沖縄

沖縄は14～16世紀頃、日本本土・中国さらに東アジア諸国との交易を通じて独特な伝統文化を形成してきました。そのなかで沖縄の工芸は、諸外国の様々な良い面を取り入れた多彩なところが特徴であり、琉球王朝時代から今日に至るまで、県内各地で受け継がれ発展しています。

沖縄県においては国指定の伝統的工芸品が16品目あり、全国第3位の品目数となっています。(令和4年3月1日現在)

沖縄全島全域

***国指定伝統的工芸品** 一定の項目をすべて満たし、伝統的工芸品産業の振興に関する法律に基づく経済産業大臣の指定を受けた工芸品

自然と文化と人々

おきなわ工芸の杜



アクセス



■車・タクシーでお越しの方

- 県庁から 車で約10分
- 奥武山公園県立武道館から 車で約5分
- 那覇空港から 車で約14分
- 空港自動車道豊見城ICから 車で約7分

※時間帯によっては、遅延が生じる場合があります。

【無料駐車場】約70台

■バス・ゆいレールをご利用の方

那覇空港からのアクセス (※奥武山公園駅で乗り換え)



- ①ゆいレール：那覇空港直通の「那覇空港駅」から乗車して、「奥武山(おうのやま)公園駅」で下車
- ②路線バス：奥武山公園駅すぐ近くのバス停「奥武山公園駅前」から豊見城(とみぐすく)中学校向けに乗車【系統番号：101・105】
- ③路線バス：バス停「豊見城(とみぐすく)公園前」で下車 徒歩5分で『おきなわ工芸の杜』に到着



歴史・技術を伝え 未来をつむいでいく

沖縄には、島々の豊かな自然に育まれた確かな技術によって長い歴史の中で人々に愛されてきた多くの工芸品が生きています。その歴史と技術を芯にしなやかに変わり続け未来をつむいでいく、日常の生活を彩る温かい存在。そんな工芸品が生まれる場所をめざします。

2F

■ エントランスホール ■ 共同工房 ■ 体験工房
■ 貸し工房 ■ 展示室 ■ 多目的室

① 共同工房

作り手の製作活動や人材育成のためのスペース。広々としたガラス張りで作業の様子を見学できます。



② 体験工房

工芸品の手づくり体験ができます。プログラムや料金、ご予約はホームページでご確認ください。



③ 貸し工房

作り手の起業支援スペース。直接商品を購入することができます。製作体験を行う工房も。工房ごとの個性が光ります。



④ エントランスホール

沖縄工芸の入口として施設のガイダンス機能を備え、沖縄工芸全般への期待感を喚起します。イベントスペースとしてレンタルすることもできます。



⑤ 展示室

沖縄の工芸品を一同に展示。工芸品の背景にある物語を伝えます。スペースを仕切ってレンタルも可能です。



P 駐車スペース

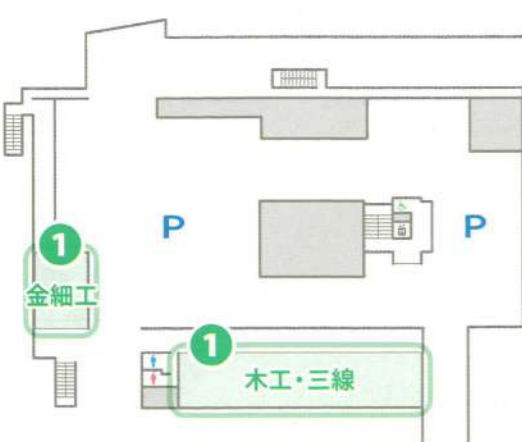
⑥ 多目的室

会議、研修、講演会、展示販売会などの会場として幅広くお使いいただけます。2室、3室をつなげて使うこともできます。



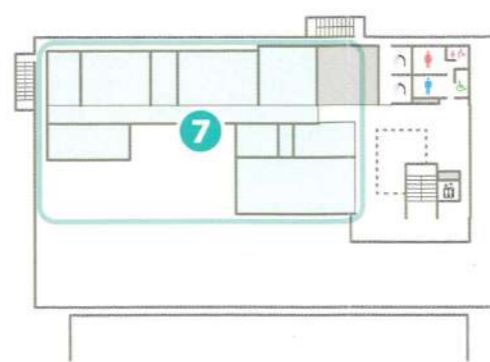
1F

■ 共同工房



3F

■ 沖縄県工芸振興センター
■ オフィススペース



料金表 ※令和4年4月時点

スペース	面積	単位	利用料金	
			工芸関連	工芸以外
多目的室 1	70㎡	半日	1,120円	2,240円
多目的室 2	69㎡	半日	1,250円	2,500円
多目的室 3	71㎡	半日	1,280円	2,560円
展示室	138㎡	1日	4,350円	8,700円
エントランスホール	247㎡	1日	7,900円	15,800円

⑦ 沖縄県工芸振興センター

工芸産業に関する沖縄県の技術支援機関。工芸技術に関する人材育成や伝統資源の活用促進に関する調査・研究を行っています。

沖縄県工芸振興センターについて詳しくは
<https://www.oki-kougeicenter.info/>



シンボルサインには2019年に火災があった首里城の破損瓦を使用しています。琉球歴史・文化への関心を高め首里城復興への思いを込めました。

おきなわ工芸の杜の役割

『おきなわ工芸の杜』は沖縄の工芸産業の振興のため、人と技術・情報の交流拠点となる施設です。当施設には工芸品への理解を深め、未来へ繋げていくための3つの役割があります。

MISSION 1

工芸品に関する情報発信

本県の伝統的工芸品を集めた常設の展示室があり、歴史や作り方について学ぶことができます。当施設を通して多くの人へ情報発信をおこないます。



MISSION 2

工芸品を製造する作り手の支援

工芸の製作や研修に必要な機器等が設置された『共同工房』や、起業をめざす作り手のための『貸し工房』など、これからを担う作り手の育成や支援をおこないます。



MISSION 3

作り手と使い手の交流の場

施設内には貸し工房や共同工房などがあり、多くの作り手が製作活動をしています。一般来訪者は製作の様子を見学したり、実際に体験工房で製作をすることができます。見学や体験などを通して作り手と使い手との交流の場をつくります。

